

## 平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	2. 行政情報化推進費					
項	1. 総務管理費	細事業名						
目	17. 情報システム費	担当課・係	情報システム課		(執行課: 情報システム課)			

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	16,590	要 求								16,590
決定額			決 定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	まちづくりの推進に向けて / 成果と効率性を重視した行財政運営の推進 / システムの導入や見直しにあたり、全庁的な									
	【各課が導入するシステムの支援に関する業務】	施策体系コード	06-01-02-30-30			事業番号	80-1					
	各所属が導入・運用するシステムに対し、技術的な助言や指導等の支援を行い、効率的なシステムの導入及び運用を行うために実施します。	総事業費	34,025千円				事業期間	平成18年度～平成22年度				
	【情報セキュリティ推進に関する業務】	年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度					
	情報システムや各種データなど市が保有する情報資産を災害や不正行為等から守り、適切な行政運営を行うために実施します。		13,400	0	0	0	20,625					
(事業実施に関する根拠法令)												

**< 事業に関する説明 >**

<p>(事業の説明)</p> <p>現在庁内で利用している各種業務用サーバ機器について、仮想化技術による削減を進めるとともに、内部事務系システムのうち、市が著作権を有する情報システム約90種類のシステムの修正などの運用保守作業を一元化し、運用保守作業における外部人材の活用を推進します。</p> <p>また、情報システムのセキュリティ実態解析及び対策を実施します。</p>	<p>(事業の目的)</p> <p>各種業務用サーバ機器のハードウェアを削減し、機器の調達・運用コストの抑制を図るとともにシステム保守作業の一元化を進め、効率的・効果的なシステム運用管理体制の整備を図ります。</p> <p>また、現状の情報セキュリティの実態解析を通じて有効性を検証し、情報漏えい対策等の強化を図ります。</p>	<p>(事業の効果)</p> <p>サーバ仮想化による機器調達コストの削減を図ります。また、サーバ仮想化と合わせて、システム保守作業の一元化と外部人材の活用により、システムの統合やオープン開発、共同運営などの民間のノウハウを活用した新たな情報処理形態の活用を図り、情報システムの最適化を推進します。</p>
<p>(事業実施上の問題点)</p> <p>最新技術であるサーバ仮想化技術に関する運用知識を保有する事業者や異なるプログラム言語で開発されている90種類を超える様々な業務システムを一括して保守することができる事業者を確保することが課題です。</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p> <p>業務システムの刷新にあたっては、業務と情報システムを個々の業務単位で捉えるのではなく全体最適視点において設計を行うため、業務の分析に多くの時間を確保することが必要です。こうした業務に職員の時間を振り向ける組織体制を構築するため、早急に既存システムに係る運用管理作業の省力化を進める必要があります。</p>	<p>(見積りに関する特記事項)</p> <p>庁内の情報システムは、10年以上を経過するシステムが多く保守コストが大きくなっていることから、システムの全面的な刷新が急務となっています。</p>